

様式第1号（第6条関係）

協働事業に関する提案書

令和 6年 1月 11日

（あて先）狭山市長

団体名 一般社団法人 mama's community  
所在地 XXXXXXXXXX  
代表者名 李 亜民

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	市民提案型協働事業
2 事業名	にじいろ体操教室
3 事業期間	令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月 31日
4 事業種別	<input type="checkbox"/> 単年度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	総額 438,000 円（内補助金申請額 318,000 円）
6 事業概要 ※100 字以内で簡潔に記入し てください	発達凸凹のある子、障がいのある子、グレーゾーン、 大病してリハビリしている子たちが、きょうだい児とそ の保護者が一緒に通える体操教室やイベント
7 希望する担当課 ※不明の場合は未記入	福祉部 障がい者福祉課
8 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書（様式第2号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業収支予算書（様式第3号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール（様式第4号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書（様式第5号）



協働事業に関する企画書

団体名 一般社団法人 mama' s community

1 事業名	にじいろ体操教室
2 事業の詳細	<p>発達凸凹のある子、障がいのある子、グレーゾーンと呼ばれる子、その保護者ときょうだい児が気兼ねなく参加できる体操教室とイベントを実施。 障がいのある子どもたちが習い事に行くにもハードルが高い。 余暇活動を推奨されているが先がないのが現状。 障がいのある子どもたちを抱える保護者の声を形にする活動。</p>
3 実施体制	<p>障がいのある子どもたちを抱える保護者の方が、スタッフ 狭山生活館3階ホール 月に2回</p>
4 役割分担	<p>【提案団体の役割】 障がいのある子どもたちを抱える保護者の声を形にする。日常で困っていることや、体験型のイベントになかなか参加できないこと、余暇活動で受け入れ先がない課題を解決。</p>
	<p>【市の役割】 狭山市内の支援級や幼稚園、保育園へのリサーチと広報。</p>
5 協働の効果	<p>障がいのある子どもたちを抱える保護者の生の声を市に届けることができる。 市が共に歩んでくれることにより障がいのある子どもたちを抱える沢山の家庭に情報が届く。</p>
6 事業のアピールポイント	<p>障がいのある子どもたちを抱える保護者の困っていることの声形にできる。 1.余暇活動、受け入れ先を作る 2.きょうだい児も一緒に通える習い事 3.兼ねなく、通える場所を作る 4.同じような環境の人たちとのコミュニティー作り 5.ママたちの憩いの場でもあり、働き場所 6.情報共有ができる場所</p>